

第24期さわもん会 だより

最終号第12号(熊本さわやか大学校 第24期生同窓会) 令和8年2月

「新会長に就任しての心構え」

さわもん会会長 酒見 英雄

令和7年度、さわもん会の新会長に就任しました酒見英雄です。

10年の長きにわたり会長を務めていただいた、太田勝信前会長には心より感謝の意を表します。

新会長としての心構えを述べさせていただきます。

高齢者の生きがいと健康づくりを目的としたさわやか大学に入学して今まで活動してきました。

10年前に長崎県小浜町から熊本市に引っ越ししてきました。生まれも育ちも熊本市とは全く関係がなく、さあ退職後のこれから的人生をどのように熊本で過ごそうか模索していた時にさわやか大学に入学しました。

多くの知人ができ熊本のことを早く知ることができました。

家に閉じこもるのが大嫌いな私は他人に文句を言う前に自ら動くことを信条としています。感動するとは感じたら即動くことだと思います。物事はできないのではなく、やらないので思っています。

さわもん会の活動が、皆様の明るく楽しく過ごす一助になれば幸いだと思います。

私の趣味についてお話しします。

50年近く続けているゴルフは、毎年50回ラウンドすることを決めています。剣道ですが

60歳から本格的に始め、現在5段です。週3回早朝5時半から8時まで練習しています。

魚釣りですが、長崎にいたので釣り船で五島列島に行ってましたが今は天草です。

旅行も好きで日本国内すべての都道府県は制覇しました。九州は88霊場巡り、200か所の温泉巡り、お城巡りが最近終わりました。海外旅行も45回ほど行きました。

冬場はスキーに行きます。九州では九重です。北海道にも行きました。熊本に来て始めたのが家庭菜園です。10坪ほどの土地を借りて細々と野菜作りをしています。長崎ではサーフィンをしていましたが熊本ではできないので、サーフボードは処分しました。

頭脳は使いませんが体はよく動きます。皆様に楽しい時間を過ごせるお手伝いができれば幸いです。



熊本武道館 初鎧会 2023/04/05

8月3日開催の日本剣道連盟審査会で6段に合格、取得されます。おめでとうございます。

さわもん会この一年【総会・講演会・イベント】



「令和7年度(第9回)定期総会開催」

令和7年4月17日(木) 熊本市現代美術館

各議案可決後、これからさわもん会活動について、そして
「さわもん会10周年記念行事に向けて」積立金5万円の活用、活動について
具体的に話し合いがもたれました

総会終了後、昼食懇親会
『縁・えにし』



会長職を10年務められた太田さんの
慰労会そして快気お祝い会
7月31日、ホテルキャツスル「桃花源」



熊本さわやか大学校大学院 市民公開講座

「大西熊本市長 大いに語る」

- ・令和7年8月22日
くまもと森都心プラザホール
- ・熊本市長 大西一史氏

- (1)私の健康法・ダイエットの成果
- (2)健康についての本市の現状
- (3)健康を維持する食生活
- (4)口の健康の重要性、栄養と口の機能との関係
- (5)社会参加と運動

熊本さわやか大学校大学院 市民公開講座

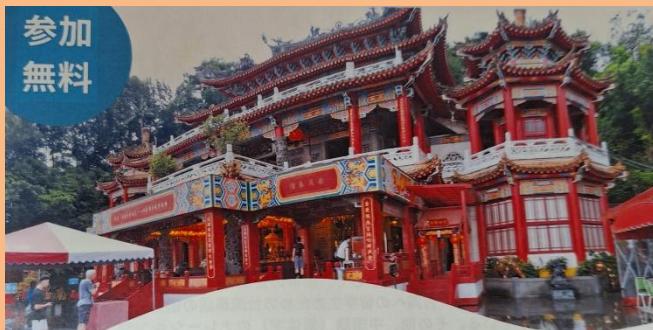
『フィルム映画で観る「東京物語」』

- ・令和7年11月26日
くまもと森都心
プラザホール



1953年に公開された小津安二郎監督の最高傑作と言われる不朽の名作、『フィルム映画で観る「東京物語」』の上映会

参加
無料



令和7年度 さわやかパートナーシップ講演会（熊本校）
台湾のことについて
～コミュニケーションのコツを掴みましょう～

熊本さわやか大学校各期連絡協議会
さわやかパートナーシップ講演会
・令和8年2月3日

くまもと森都心プラザホール

きゅう けいふん
・講師 邱 桂 芬 氏

「熊本城マラソン 2026ボランティア参加」

- ・令和8年2月13日 花畠広場 酒見会長参加

熊本城マラソン
2026



第37回熊本県シニア美術展

令和7年9月30日～10月5日

山田千鶴子

「個色」(工芸)【佳作】



さわもん会 10周年記念 唐津懇親旅行

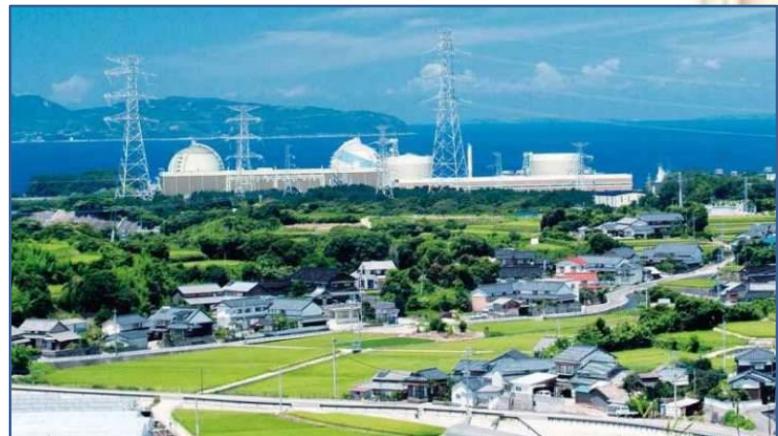
令和7年10月30日(木)

市民会館==九州自動車道==玄海原子力発電所=呼子「河太郎」(昼食)
=名護屋城博物館=道の駅「桃山天下市」=鏡山展望台==九州自動車道
==市民会館

10周年記念行事としてバス旅行を企画、マイクロバスをレンタルして
一般のツアーではなかなか見学、観光できない玄海原子力発電所、
鏡山展望台などオリジナルツアーを楽しんできました。

玄海原子力発電所

東松浦郡玄海町に立地、九州では初めて原子力発電所として昭和50年に運転開始、現在3号機と4号機が営業運転中。



ウラン燃料、原子炉容器、核分裂、タービン、発電、放射性物質、原子炉格納容器…、ガイドさんから詳しい説明がありました。
井手さんが、国から交付される原子力発電所交付金について質問されましたが、金額については回答されませんでした。





唐津市呼子



イカ漁と朝市で賑わう呼子、
行列ができる人気店「河太郎」
で待つこと1時間、イカ活き造り
定食をいただきいてきました。



名護屋城博物館と 道の駅「桃山天下市」

名護屋城は豊臣秀吉の朝鮮出兵(文禄・慶長の役)に際して出兵拠点として築かれた城、博物館には、城址と全国から集まった諸大名の陣屋跡、戦に関する文献や絵画資料、秀吉が作らせた黄金の茶室(復元)などが展示、紹介されていました。道の駅は名護屋城址の玄関口にあり、農産物直売をはじめたくさんの特産品、お土産が並びお買い物好きな女性には嬉しかったです。



鏡山展望台

鏡山展望台は、虹ノ松原、唐津湾、唐津城、唐津市街地、さらには玄界灘や壱岐島まで360度近いパノラマビューを楽しめる絶景スポット



さわもん会 「新春食事会」

令和8年1月15日(木)

ホテルメルパルク熊本レストラン「パール」

あけましておめでとうございます。

なかなかお会いできない方もいらっしゃいますが

春にはご一緒にできたら嬉しく思います。

会則、総会、各役員、会議等現在の活動体制を見直し

大きく組織改革の方向へお話しが進みました。





令和7年4月、熊本さわやか大学校24期『さわもん会』は10周年を迎えました。熊本地震の年に設立され、会員の皆様も70代、80代、歳を重ねる度に身体に労わるところが出てくるようになりました。その10年を節目に本誌会報「さわもん会 だより」を終える事とし、昨年の11月、タイトルは自由に語っていただきました。

「私の趣味」

私の趣味？は、旅をする事です。旅をする事は、見知らぬ土地や風景、その地方の郷土料理、そして、色々な人々との出会いが、非日常を彩ってくれます。

特にクルーズを経験するとはまっています。華やかで、国際的…そして、夢のような世界です。まず、船の出航、入港、風景は、いつ見ても感動します。大型豪華客船が入港している埠頭

では、出航する時、汽笛を3回鳴らします。1回目は『出航します』、2回目は『幸運を祈る』、3回目は『無事の航海』だそうです。昼と夜は、豪華なディナー…。船の中では、一日中、ショーやイベントがっており、退屈するような事は、ありません。

1年に1回は、クルーズに、行くようになっていますが、船旅は、最高に贅沢で、身体に優しい優雅な旅です。

そのためには、身体に気を付け、日々に感謝しながら過ごしたいと思います

7班 井手 絹代

クイーンエリザベス号



「今の私」

7班 古閑 重矩

昨年母を104歳で見送りました。

私はちょうど80歳になります。人生の大きな節目と思っております。

楽しい事しかしない。嫌なことは丁寧にお断りをする。

私は現在、吹矢のカルチャー教室3ヶ所の講師をしています。それから熊本県内に20ヶ所の支部があり、350名会員の熊本県スポーツウエルネス

吹矢協会の会長、大江六町内自治会副会長、大江六町内公民館長、熊本市消費者団体連絡会の監事、熊本市明るい選挙推進協議会委員、熊本市児童館運営審議委員をしております。楽しい毎日を送る相手がほしいです。



令和7年12月20日
大江六町内町内餅つき大会

「 ありがとう!! さわもん会」

7班 新堀 恵美子

さわもん会設立10周年、誠におめでとうございます。

いろんな事が思い出されます。大勢でたくさんの行事、そして日帰りバスの旅もあっちこっちと行きました。毎回参加してとても楽しみました。その間会長さんの交代等ありそれぞれの体調の変化も認めざるを得ません。

先日の10周年唐津懇親旅行、酒見会長さんのお世話、古閑さんからのマイクロバスの手配等すばらしい心に残る旅となりました。

会長さんはじめ役員の方々にいつも感謝、かんしゃです!! いろんな方との出会い、さわもん会からたくさんの学びと交友を戴き感謝致します。

これからも末永いお付き合いよろしくお願ひ申し上げます。



七五三で紹介した双子の孫娘
一年生になりました



フジバカマに集まる蝶
アサギマダラ
くじゅう花公園にて10月25日

「日日是好日」

7班 森田 由紀子

八十の坂を越えて、熱中する趣味も殆どなくなり、辛うじてガーデニングだけは、猫の額ほどの狭い庭ではあるけれど、季節毎の花を楽しむ、唯一の癒しの場所になっています。

そして忘れられないのが、20代の頃頻繁に、四季折々の山を踏破した事。若さと情熱にあふれた、山仲間との苦楽と共に過ごした日々は、我が青春のかけがいのない、貴重な想い出となっています。それから月日は流れ、再び山登りに挑戦したのは、主人を見送り、ひとり身の気ままな生活にも慣れた頃、67歳にして憧れの富士登山初体験をした事。5合目から必死の思いで、山頂に到達した時の感激は、一生忘れるものではありません。70代半ばまで、あちこちの山にトライしましたが、近頃は30分程度のウォーキングでさえ、足取りも覚束なくなり、めっきり体力の衰えを痛感している、今日この頃の私です。



ららポート福岡の
ガンダム立像(24.8メートル)

「あれから10年、これから10年」

8班 太田 勝信

さわもん会の皆様、設立来「仲間同士の絆を深め、楽しいひとときを共有する場」としてスタートし今まで会員相互の英知と勇気のおかげで節目の10周年を迎えることが出来ました。

今回の会報投稿にあたり、第1回会報発行氏誌から前回までを見返しました。

その当時の様子や思い出に感激深いものがありました。

私達はさわ大卒業と同時期に熊本地震を経験し、お互いの安否確認を行うことから始まり、震災後は私達の絆を一層深め、さわもん会としての活動の基盤となったようです。

その後もコロナ感染が拡大し、活動に多大な影響を受け、会合やイベントの中止が相次ぎ、災害が重なった経験は、人とのつながりの大切さを見つめ直すきっかけにもなりました。

さわもん会も年数を重ねると、数多くの日帰り旅行や食事会、多様な趣味の会を通して交流の輪が着実に広がり心温まる思い出を共有することが出来ました。

これからも無理なく、楽しい会でありたいと思っております。



10/30、10周年記念唐津懇親旅行
玄海原子力発電所にて

「想い出」

8班 高見 朝子

振り返ればあっという間の時間にも思え、入学式の時の華やかな笑い声、皆、目を輝かせていました。なんて意欲的な人達の集まりしかった事を覚えています。

地震あり、コロナありで大変な事もありましたが、よくぞ乗り切りました。皆様に拍手です。

平成28年4月14日21時26分、最大震度7を観測する大地震発生。私の住む益城町は地震の震源地で、それは悲惨なものでした。エイト会の皆様にも現地を見てもらいたくて御声掛けしましたら、6人の皆様が健軍に集まり来てくださいました。

5班の村田さんは軽トラで、前会長太田さん、石渕さん、光井さん、村田さん、山田さん、車2台で益城町を回り、自宅でだご汁と高菜漬けのおにぎり、質素なおもてなしでしたが喜んでいただけた事が思い出されます。感謝の心で満ちた一日でした。

2020年1月に国内初のコロナが見つかりました。旅クラブの人達とクルーズ船に乗った後の出来事でそれは大変なショックでした。もし時間差がなかつたらと恐怖を覚えました。コロナの出初めに主人はゴルフ仲間がコロナに感染、恐怖でした。

それから私は市内に行くことは禁止、その間さわもん会の理事さんの熱意ある会議、あのコロナ禍、前会長太田さん、井手さん、山田さん、市内で会議、本当に頭の下がる行動でした。

この日を迎える日にあたり、役員の皆様の頑張りと熱意に感謝せずにいられません。



8班 エイト会
10月21日 メルパルク熊本

「未知との遭遇」

8班 山田 千鶴子

ある月の法語カレンダーに、
「何に遇ったのか、それによってその人生は決定する」
とありました。
この法話は、人との出会いや仏法との出会いが人生を
決定づける大きな転機になると説いているのですが、
文中にある「遇う」という漢字には思いがけず偶然に
「遇う」と、約束をして「会う」があり、
相手は人だけでなく、物事、出来事、見たり聞いたりした事、体験した事など日常生活では「遭遇」の方が多い
ように思います。

「さわやか大学校」で経験した事は出会いと遭遇、
「未知との遭遇」の連続でした。

日常の生活の中で、さわやか大学校から得た経験、知識、そして仲間とのつながりは、人生のサプリメントになったり、ある時はスパイスになったりしました。

畑の小さなお野菜たちの成長は、一息つく遭遇の時間です。

「未知との遭遇」、過去形ではなく、現在進行形の形でありたいと思います。



*熊本さわやか長寿財団から

「熊本さわやか大学校」令和8年度入学生募集

(申込期間 1/13~3/13)

*さわもん会の行事予定

・3/19(木)	11:30~	役員・理事会	八潮
・4/ 9(木)	11:00~	会計監査	八潮
	11:30~	役員・理事会	八潮
・4/16(木)	10:30~	定期総会	現代美術館会議室
	12:00~	昼食懇親会	『縁・えにし』

編集後記

事務局 山田千鶴子

さわもん会設立から10年、おめでとうございます。

この10年の節目に最終号となりましたが発行できましたこと、また長きにわたりご協力いただきしたこと心から感謝申し上げます。

スマートフォンの普及により、文字を書く、文章を作成するという行動は少なくなり、紙(paper)の必要性も少なくなるように思います。

「紙をめくる」、「ページをめくる」楽しみは、欲しいです。

健康管理しながら頑張っていきましょう。

編集委員:酒見英雄 井手絹代 山田千鶴子